

ASHINO

環境レポート

株式会社芦野製作所



2024 年度 第 55 期

(対象期間： 2024 年9月1日～ 2025 年8月31日)



Environmental report from Ashino Factory Co., Ltd



発行日： 2025年11月18日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画	7～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	13
代表者による全体の評価と見直し・指示	14
これまでの環境活動の紹介	14～16



ごあいさつ

最初に、今回エコアクション21を初めて取り組みさせて頂き、大阪シティ信用金庫EA21スクールの先生方に大変親切な指導をしてもらっていると、弊社担当から聞いており、大変感謝しております。

エコアクション21の取得希望の理由は、弊社がISO14001の認定がある事もあり、カーボンニュートラルの取組みを昨年から行っていて、よい結果にはなっていると思っていましたが、エコアクション21では、環境経営レポート作成と公表を要件と規定していることにより、数値データに基づく見える化により、次年度の評価・対策・目標をたてる事が容易になるであろうと思い認定取得希望しました。

今回、EA21を始める事になりましたが、昨年と今年の比較を見ると環境経営及びカーボンニュートラルに向けた取組みが少しずつ達成されているように思います。引き続き、無理のないカーボンニュートラルに向けた設備投資と従業員へカーボンニュートラルの取組みの意味の周知を徹底してもらいます。

環境経営方針

橋梁の補修・補強に必要な構造物の製造を通じて、インフラ老朽化の対策に取り組む、長寿命化に貢献することがわが社の企業価値であると考えます。構造物の性能を長期スパンで考え最適に保持して行くためには、使用性能、構造耐久性能だけでなく、環境負荷の重要性も認識し、考慮していく必要があります。自社の企業活動におけるエネルギー消費量、環境負荷を正確に把握し、最小化できるよう、社員一丸となって自主的・積極的かつ継続的に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 脱炭素化社会に向けて電力や燃料の二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 循環型社会に向けて廃棄物の発生抑制や再資源化に努めます。
4. 水資源の有効利用のため水の削減に努めます。
5. 溶剤など化学物質を使用する場合は適正管理に努めます。
6. 材料の廃棄や手戻りが起こらないよう徹底した管理体制を維持します。
7. インフラ老朽化の社会問題に貢献できるように企業価値向上に努めます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2023年9月1日

改定日：2023年11月22日

代表取締役

芦野 剛一

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社芦野製作所
代表取締役 芦野 剛一
- (2) 所在地
本社工場 大阪府大阪市西成区南津守5丁目6-46
ナニワ工場 大阪府大阪市西成区南津守5丁目12-4
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 芦野 剛一 TEL : 06-6659-6256
担当者 総務部 主任 村上 友子 TEL : 06-6659-6256
- (4) 事業内容
建設構造材の製造及び製缶
- (5) 事業の規模
売上高 267,000 千円
- | | 本社工場 | ナニワ工場 | 合計 |
|----------------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| 従業員 名 | 12 名 | 5 名 | 17名 |
| 延べ床面積 m ² | 490 m ² | 563 m ² | 1,053m ² |
- (6) 事業年度 9 月 1 日 ~ 8 月 31 日

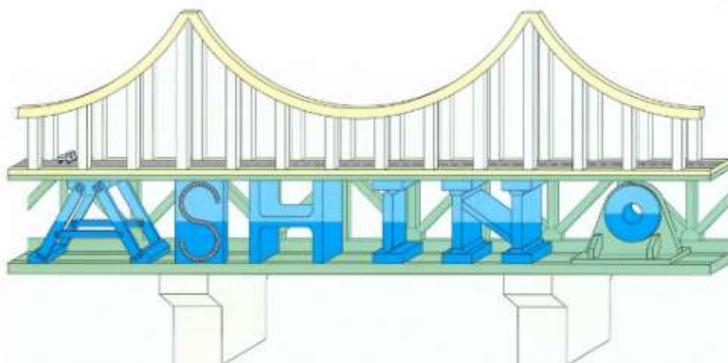
認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社芦野製作所
対象事業所： 本社工場
ナニワ工場
対象外： なし
活動： 建設構造材の製造及び製缶

事業の紹介

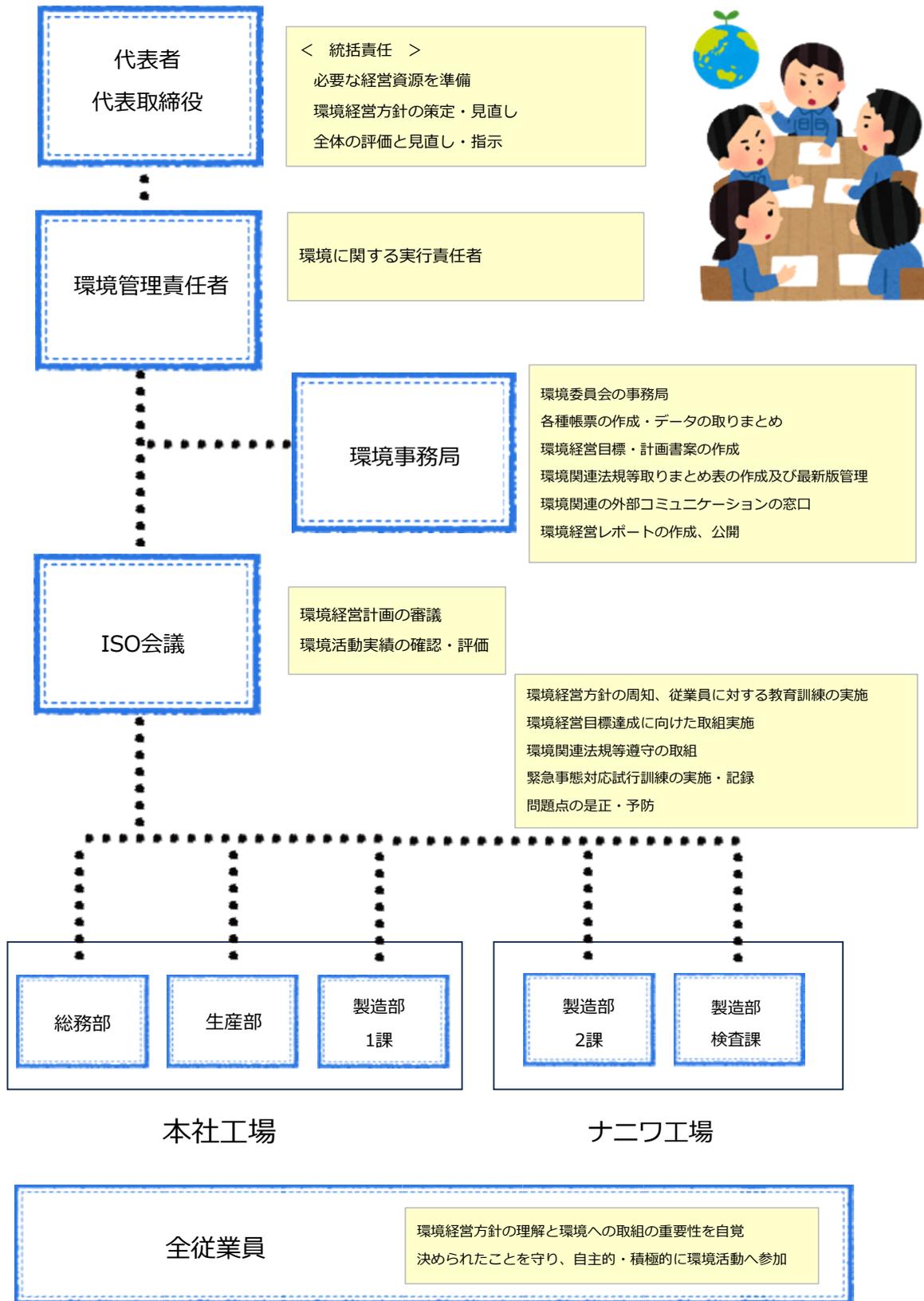
私たち株式会社芦野製作所は、橋梁鉄骨を中心として橋梁の補修・補強に必要な構造物の製造を始め、水門・鉄塔・鋼管の製造から土木・建築・一般鋼構造物の鋼材加工などを行っている金属加工の会社です。

色々な鋼材を必要とされる形に自在に製品化できる 熟練した技術と高効率の生産体制で皆様のご要望にお応えいたします。



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2025年11月18日



主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	67,415	66,996	66,831
Scope1 (化石燃料)	kg-CO ₂	4,976	5,959	5,639
Scope2 (電力)	kg-CO ₂	62,439	61,037	61,192
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,430	1,511	1,377
産業廃棄物排出量	kg	6,330	12,400	7,390
水使用量	m ³	334	234	212
※電力の二酸化炭素排出係数 (調整後)		0.311	0.311	0.311
		関西電力(2021年度)調整後排出係数		

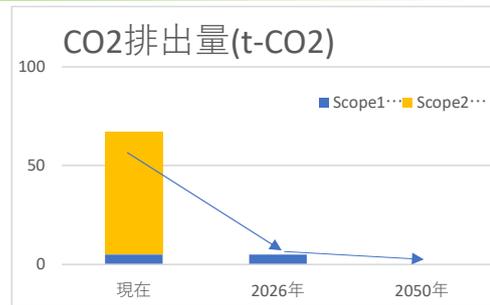
kg-CO₂/kWh

※※二酸化炭素排出量は都市ガスも合計されていますが、全体の0.2%であるため環境経営目標として取り上げていません。

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位 : t-CO₂

	Scope1 化石燃料	Scope2 電力	対 策
現在	5	62	省エネ
2026年	5	0	省エネ+再エネ電力
2050年	0	0	省エネ+電気自動車+再エネ電力



環境経営目標及びその実績

項目	年度	2022年度			2024年度		評価	2025年度	2026年度
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)			
電力による二酸化炭素削減	kWh	200,769	196,754	196,759	×	192,738	190,731		
	基準年度比		98%	98%		96%	95%		
	売上高原単位 kWh/千円	0.570	0.559	0.737	×	0.548	0.542		
	売上高原単位 kg-CO ₂	62,439	61,190	61,192	×	9,990	0		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,362	4,275	5,546	×	4,231	4,187		
	基準年度比		98%	127%		97%	96%		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	66,801	65,465	66,739		14,221	4,187		
一般廃棄物の削減	kg	1,430	1,359	1,377	×	1,330	1,287		
	基準年度比		95%	96%		93%	90%		
産業廃棄物の削減	kg	6,330	6,014	7,390	×	5,697	5,381		
	基準年度比		95%	117%		90%	85%		
水道水の削減	m ³	334	317	212	○	307	301		
	基準年度比		95%	63%		92%	90%		
材料の廃棄や手戻りが起こらない管理体制の徹底		行動目標 (次項による)							
インフラ老朽化の社会問題の解決		行動目標 (次項による)							

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

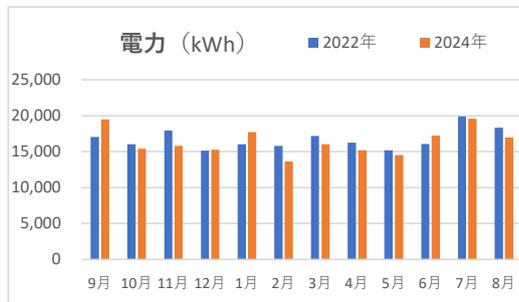
数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった



電力

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	昨年に続き、1年のうち約半分しか目標を達成できなかった。 不定期に繁忙期と閑散期があり、仕事量・内容によって変わるため比較や目標達成が難しいところがあるが、来期も引き続き毎月の数値に注視していきたい。 当社のCO2排出の大半が電力の使用によるのもので、来期は、電力会社から提案のあった省エネECOプランの導入検討を進める。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・生産方法の改善による時間短縮	○	
・空気圧縮機の点検(エア漏れ確認、掃除)	○	
・エアコンの清掃、フィルター交換	○	



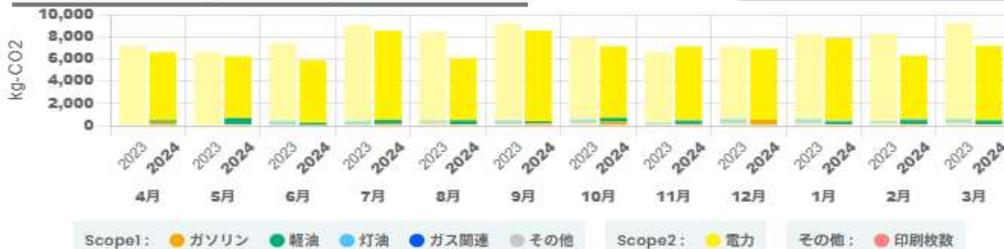
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	17,019	15,997	17,940	15,107	16,009	15,814	17,204	16,251	15,138	16,058	19,874	18,358
2024年	19,496	15,390	15,779	15,236	17,729	13,616	16,036	15,180	14,525	17,237	19,576	16,959

CNREPORT 集計期間：2024年4月～2025年3月

2024年度 排出量内訳 (単位：kg-CO2)

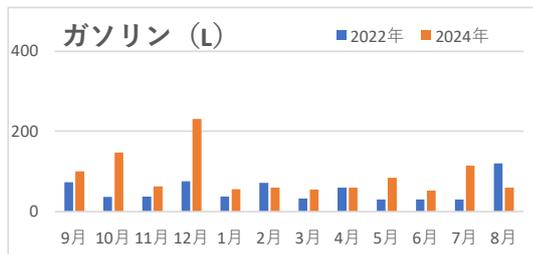
	2024年度	2023年度	前年度比
合計	84,441	95,403	▼11.5%
Scope1小計	6,044	5,081	▲19.0%
軽油	3,358 1301.5l	3,064 1187.8l	▲9.6%
ガソリン	2,416 1041.8l	1,927 830.4l	▲25.4%
灯油	270 108l	90 36l	▲200.0%
Scope2小計	78,397	90,322	▼13.2%
関西電力(株)	78,397 187,106kWh	90,322 208,116kWh	▼13.2%

- ・エアコンの適正温度を設定 (冷房28℃/暖房20℃)
- ・暑さ寒さ対策は、クールベストや防寒着を活用し、服装で調節
- ・不要照明の消灯
- ・オン/オフの切り替えスイッチがついた電源タップを使用
- ・毎月CNレポートに入力し年度別グラフでも見える化
- ・毎月1回、環境推進委員会を実施

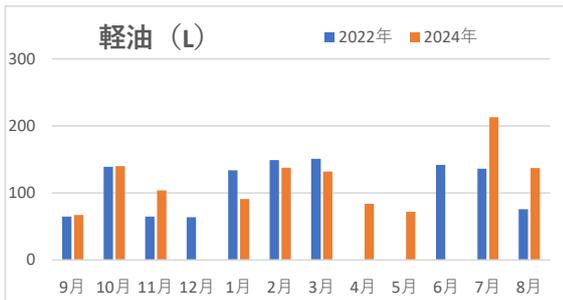


自動車燃料

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	1年間、ガソリンの使用料削減のための改善活動を実施してきた。特に、工場間の連携強化したことで、拠点間を行き来するトラックのスケジュールを調整し、無駄な待ち時間を大幅に削減した。これにより、不要なアイドリング時間が減少し、ガソリンの消費量を抑制できた。8月からは社用携帯の数を増やしたため、社内の連絡がより取りやすい環境となったので、今後も、工場間の連携・情報共有の促進を図って効率的な運搬を実施していきたい。
・エコドライブの浸透	○	
・効率的なルートで配送	○	
・走行距離を記録する	○	
・工場間行き来の際は事前連絡する	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	73	37	37	76	37	72	32	60	30	30	30	120
2024年	100	147	63	231	55	60	54	60	84	52	114	60

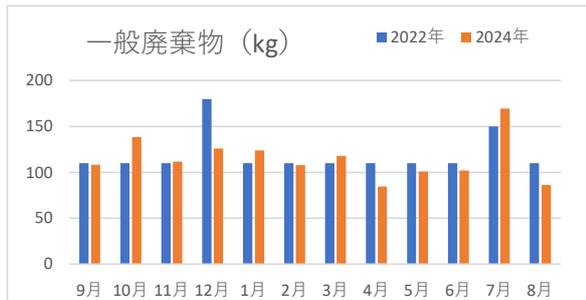


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	65	139	65	64	134	149	151	0	0	142	136	76
2024年	67	140	104	0	91	138	132	84	72	0	213	137



一般廃棄物

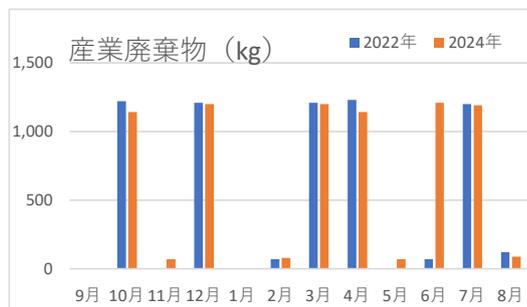
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	4月から段ボール・古紙の回収リサイクルを実施した結果、一般廃棄物の量が減った状態を維持していた。7月の廃棄物量が増加した要因については、6月に開始した社内「安全パトロール」の実施からおこった工場内の整理整頓活動が主な原因である。この活動に伴い、不要物の洗い出しと処分が必要となり、一時的に廃棄物量が増加した。今後は、日常的に整理整頓を心がけ、廃棄物量の抑制を継続的に推進していきたい。
・分別の徹底	○	
・裏紙利用・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
・古紙リサイクル	○	
・ゴミの計量記録をつける	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	110	110	110	180	110	110	110	110	110	110	150	110
2024年	108	139	112	126	124	108	118	85	101	102	169	86

産業廃棄物

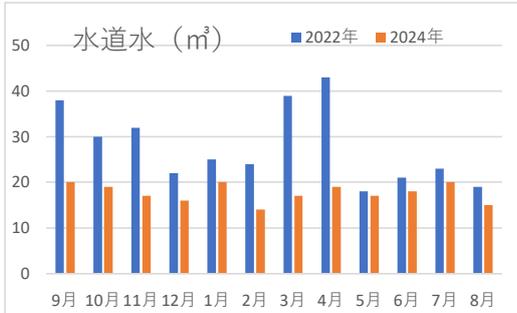
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	この1年はヒヤリハット報告書を書くことを徹底し、社内にて定着するようになった。また、ミスがあった際の「不適合是正報告書」も、作成に当たって話し合いの時間をしっかり取り、対策を考えることで、気を付けなければならないポイントを共有することができ今後のミスの予防につながっている。ミスによるロス材ゼロに向けて、こういった取組の積み重ねが大切だと実感した。
・作業ミスによる廃棄量の削減	×	
・工場製作管理フローチャートの掲示	○	
・工程ごとの手順書の見直し	○	
・工程会議や部門ミーティングで改善策を検討する	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	0	1,220	0	1,210	0	70	1,210	1,230	0	70	1,200	120
2024年	0	1,140	70	1,200	0	80	1,200	1,140	70	1,210	1,190	90

水道水

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	水道水の削減は、年間を通して目標を達成できた。
・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	従業員の節水意識は高まりつつあるが、今後も、ポスター掲示や声かけを継続し、日常の習慣として定着させることが重要である。
・ 水栓の閉め忘れを防ぐ	○	
・ 排水・汚泥が出ないように気を付ける	○	

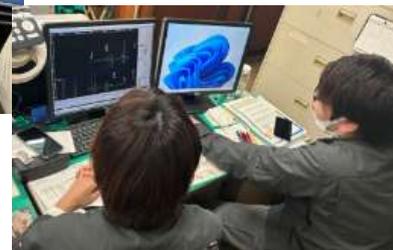


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	38	30	32	22	25	24	39	43	18	21	23	19
2024年	20	19	17	16	20	14	17	19	17	18	20	15

管理体制

材料の廃棄や手戻りが起こらない管理体制の徹底	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ プロセス管理 (ISO9001で管理)	○	当社では、毎朝の朝礼・社内連絡メール、週に一度の工程会議、という定期的なコミュニケーションの他、必要に応じて部門ミーティングや課題解決会議を行うことで、各工程の状況把握とともに、作業の優先順位を明確にし、効率的な工程管理をおこなっている。特に、問題点やリスクに関する情報共有は、未然にトラブルを防ぐための重要であり、引き続きこれらを通じて工程の効率化と安全・品質の向上に努めていきたい。
・ ミス・ロス削減 (ISO9001で管理)	○	
・ 検査方法の効率化	○	
・ 品質教育の実施	○	
・ 品質、環境、安全衛生の各会議を月1実施	○	
・ 安全衛生 (事故ゼロ) (KY活動)	○	

取組紹介欄



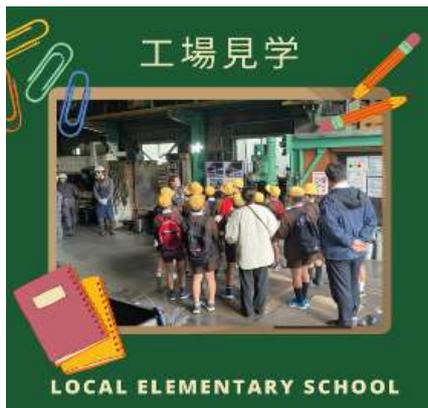
ESG経営の推進

インフラ老朽化の社会問題の解決	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ ESG経営宣言 事業者登録	○	<p>今年度はESG経営を推進する上で重要な経営理念と経営方針を策定し、内外にアピールしたことにより、ESG経営において重要な一歩を踏み出した年となった。</p> <p>これまで進めてきた環境・社会・企業統治に関する取組について、より明確な方針や規定にまとめて土台を整備し、強化すべき点と不足している点を明確に認識することができた。</p> <p>次期以降も注力したいのは、自社製品を通じてインフラの長寿命化に直接貢献し、その重要性を工場見学を訪れる学生に伝える役割を今後も積極的に担っていくことである。</p> <p>8月に認証を取得したばかりであるが、引き続き全社一丸となってESG経営を実践し、必要とされる企業として成長を続けたい。</p>
・ ESG経営の推進（認証取得）	○	
・ 社内研修・教育の実施	○	
・ HP、SNSの更新、工場見学の受け入れ	○	
・ 働き方改革（就業規則の改訂と順守）	○	

取組紹介欄



2025年8月18日、一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会による「ESGマーク認証制度」のブロンズ認証を取得しました（全国で52社目）。「ESGマーク認証制度」とは、企業の環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の3つの要素に関する取り組みを第三者機関が評価・認証する仕組みです。



他府県の中학생、地元の小学生の会社訪問・工場見学の受け入れをしました。

SDGsの取り組みについて関心の高い世代に、安心安全に長く住み続けられる街づくりのために、インフラ老朽化の対策が不可欠であることを伝えました。

説明を担当した社員は、改めて自社のことを知り考えるきっかけになり、また、人にわかりやすく



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	空気圧縮機、送風機の設置
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置
労働安全衛生法	金属アーク溶接等作業を継続して屋内作業場で行う
自動車NO _x ・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期間使用・再商品化に必要な料金の支払い
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める
顧客要求事項	・環境マネジメントシステムの運用　・環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

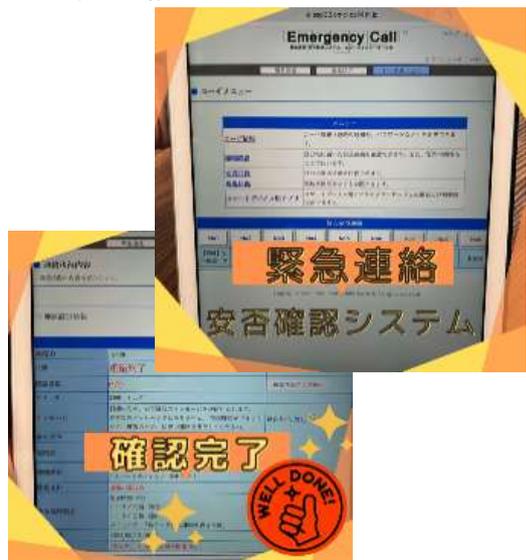
外部からの環境上の苦情・要請等

苦情・要請なし

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生		
■実施日： 2024年9月4日（水）本社 10：15	■実施場所 本社工場	
■参加者： 全社員		
■実施内容： □通報訓練 □消火訓練 □避難訓練 119番通報（回線不使用）、社内非常放送、避難誘導、ガス元栓閉鎖・電源遮断、消火器設置場所確認、消防署職員立会のもと水消火器による消火訓練等		
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
各自素早い対応で避難することができた。訓練放送・訓練指導者の話をよく聞いて行動することができていた。消防署職員立会のもと水消火器による消火訓練も積極的に参加し、正しい使い方を学ぶことができた。		
■実施状況の様子		
 <p>火災を想定した訓練で…</p> <p>工場シャッター前に避難しました</p>	 <p>消火器の使い方を教わり…</p>	 <p>水が出る消火器で初期消火の訓練をおこないました!</p>



緊急事態の想定： 地震の発生	
■実施日： 2024年9月12日（木） 8：10	■実施場所 本社工場・ナニワ工場
■参加者： 全社員	
■実施内容：地震の訓練として、避難訓練し、「安否確認システム」を使用して地震があった際に自分の状況を会社に報告する方法を練習した。会社から訓練用のメッセージを一齐送信し返信の仕方を一緒に確認した。	
■評価：	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
<p>「安否確認システム」のテスト訓練を初めておこなったため、担当者がレクチャーしながら実施することとなった。被災した際に自分で安否を送信できないと困るので良い機会になった。南海トラフ地震について「臨時情報(調査中)」が発表された場合、地震への備えを再確認し、家族の居場所を把握できるようにする、などの防災対応を確認した。地域(西成区南版)の防災マップで津波浸水想定の確認もおこなった。</p> 	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年11月7日

【1年を終えて】

半年間にわたり開催された大阪万博により景気の上向きが期待されておりましたが、実際にはその予想に反し、建設業界では景気の停滞や悪化が見られる状況となっております。

そのような厳しい環境下においても、弊社はカーボンニュートラルの実現に向け、着実に取り組みを進めてまいりました。

また、小学校・中学校の工場見学の受け入れや掲示板的贈呈など、さまざまな社会貢献活動にも、従業員一同が力を合わせて取り組んでまいりました。

さらに来年度は、電力を100%再エネECOプランへ切り替えることが決定しており、エコアクション21認証取得企業としての誇りを胸に、地域社会に貢献しながら持続可能な成長を目指してまいります。

最後に、これらの活動を支えてくださった担当者の皆様をはじめ、従業員お一人おひとりのご努力とご協力に、心より感謝申し上げます。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

これまでの環境活動の紹介



「事業継続力強化計画」の認定を受けました。今後も防災・減災の事前対策に積極的に取り組み、事業継続力強化の維持・向上に努めてまいります。
(2022年4月22日)



2050年のカーボンニュートラルに向けて大阪府が創設しました「脱炭素経営宣言登録制度」に登録いたしました。
(2022年9月14日)



「健康経営優良法人2025（中小規模法人部門）」の認定を受けました。健康経営を推進し、従業員の健康と働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。
(2025年3月10日)



地域の小学校に写真ニュース掲示板を寄贈しました。毎週1回4枚の写真ニュースが掲示され地球温暖化問題への意識高揚を図る目的のものです。
(2025年7月22日)



当社のマスコットキャラクター「ハッシー」の商標登録をおこないました。HPやSNS、社内掲示物に登場させ、製造業を身近に感じてもらうことにひとやくかっています。
(2024年9月13日)



「SECURITY ACTION」は情報処理推進機構（IPA）によって、安全・安心なIT社会を実現するために創設されました。当社は本制度の趣旨に賛同し、二つ星を宣言しました。
(2025年7月22日)



2016年6月にISO9001（品質）の認証を取得し、その後2022年5月に14001（環境）、45001（労働安全衛生）の認証も取得し、維持しています。
顧客満足の向上、環境負荷の削減、無事故・無災害 を目標に、この統合マネジメントシステムを適切に実施し、継続的な改善に取り組みます。



会社の持続可能な成長を目指し取組を開始し、2024年9月30日に「ESG推進宣言」をしました。そして、2024年12月26日の日本経済新聞 全国版 朝刊にESG経営に取り組む企業として芦野製作所の名前が掲載されました。今後も環境・社会・企業統治の3つの課題について継続的に取り組んでまいります。

「ペットボトルキャップを集めると世界の子供にワクチンを寄付できる」取組を始めました。
(2025年3月17日)

【1年を終えて】

エコアクション21の活動期間を振り返り、この一年間モ、当社では従業員一同CO2削減に向けて積極的に取り組んできました。省エネルギーの推進や社員一人ひとりの意識向上を図ることで、日常業務の中に環境配慮を自然に取り入れることができました。

特に、これまでは配達物の梱包に使われている段ボールを一般ごみで廃棄していましたが、古紙回収リサイクルへ持って行くことでリサイクル資源として再利用されることになり、その分、一般廃棄物の重量が目に見えて少なくなりました。できるだけ多くリサイクルできるように段ボールに油や汚れが付かないように工場内で気を付けて保管するようになりました。また、ペットボトルキャップを集める活動がワクチンの寄付や医療支援につながると教えていただき、始めたばかりですが、環境保護と社会貢献を同時に行えるため引き続き取組を続けていきたいと思ひます。これらの活動のように、各人が手軽に参加できるところから始めることが大切だと思ひました。

次年度に向けては、さらに一歩進んだ取組を計画しています。再生可能エネルギーの利用に注目し、再エネECOプランを契約する予定です。これにより、電力のCO2排出を実質ゼロに近づけ、環境負荷の軽減に大きく寄与できると考えています。

今後も、環境負荷の低減や資源の有効活用を意識し、企業としての責任を果たしながら、社員一丸となって環境に優しい企業づくりを推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきたいと思ひます。



ASHINO

株式会社 芦野製作所